

広報 第 112 号

のむら

2024年3月

令和6年

発行人 区長 長井通好
 編集 広報委員会
 事務局 TEL・FAX0795-23-4639
 世帯数 2,961世帯(野村町)
 人口 7,115人(野村町)
 (2月1日現在)



門松 木工俱楽部作



どんどう

5区遠藤将大さん
文化祭出品作品

この度、2期4年にわたって務めさせていただいた野村町代表区長を退任することになりました。私がこの大役を引き受けた時はちょうど新型コロナウイルスの感染拡大が始まった時期であつたため、これまでの人生で初めてのことが多々ありました。「パンデミック」や「クラスター」という言葉も初めて耳にするもので、日本全体がその対応に右往左往している状態でした。この時期のコロナは重症化して死亡に至るケースも多く、様々な行動制限が政府から発令されました。そのため、当初の2年間は自治活動の根幹となる人と人との交流を十分に行うことができず、これまでのような活動ができなくなってしまいました。町民の安全と安心を確保するため、行政の指導を仰ぎながら自治活動に取り組んだ結果、令和2年度前期区費徴収を見送り、公民館の閉鎖、住民参加の行事の中止が行われました。町民の方々には多大なご迷惑をおかけしましたが、町関係の活動においてコロナの感染者が出なかつたことはありがたく思っています。これも町役員、町民の方々の色々なご意見とご指導、ご協力の賜物と感謝しています。

三年目後半になつてからは感染症への対応策なども確立されたため、自治活動も徐々に行うことができるようになりました。昨年の5月にはコロナの感染症法上の取り扱い変更に伴い行動制限が撤廃され、これまで通りの自治活動が可能となりました。しかしながら町民運動会、敬老会、秋祭り、文化祭、互例会等の行事を執り行つていきました。特に互例会についてはこの時期にコロナの「第10波が訪れるであろう。」という予想があつたため、参加者の健康と安全を最重要視しながら、役員、各種団体の方と協議し、例年とは異なる形で開催いたしました。

ふりかえってみると、この4年間は「コロナに始まりコロナに終わる。」という格好になつてしまいました。ですが、このような状況であつても自治活動の中で感染者が出なかつたことは取り組みの成果だと思います。これもひとえに役員、町民の方々のご理解ご協力の賜物だと感謝しています。ありがとうございました。

これからは野村町の一町民として、野村町の発展のために協力していくないと考えています。最後になりましたが、4年間にわたり支えていただいた町役員、各区の役員、各種団体、町民の皆さんに心よりお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

区長退任にあたつてのあいさつ
区長 長井 通好

文化祭
令和5年
11月4日～5日

11月5日は西脇で
11月の観測史上最高
の28.2°を記録した
日になりました。

11月5日みらい
文化祭が開催され
ました。4日土曜日
70人が来場され、
70人の秋を楽し
ました。

公民館役員の皆さん
も今年は2年目なので
準備も去年に比べたら
スムーズにできたそう
ですが、次期の役員へ
の申し送りを潤滑に行
える方法を考えないと
いけないとと思っておら
れるそうです。特に去
年はコロナにより文化
祭が中断され、引継ぎ
がうまくいかなくて苦
労されたそうで
す。でも野村町
のまちづくりに
少しでも携われ
てよかったですと言
われていよいよ
ました。

えで野村町文化祭が開催されました。4日土曜日224人、日曜日70人が来場され、展示された145の作品を見たり、茶道サーカルのお茶会に行かれたり、文化の秋を楽しんでいました。作品出品者には商品券が贈られました。

野村町の行事

令和5年11月～
令和6年1月

11月4日5日みらい



10時連絡を受けて消防車、救急車が集まり災害本部を設営



多くのケガ人などがいる場所では、その程度に応じて順位をつけ、(トリアージという)緊急性の高い人から搬送します。



11月7日みりじえにおいて、北はりま消防組合3署(西脇・加東・加西)合同訓練が実施され、野村町から33人の住民が参加しました。この訓練は施設内において、異臭が発生し多数の来館者が体調不良を訴えているという想定で、今年の4月北はりま消防組合で特殊な救助事業と緊急消防援助隊派遣に対応するため発足された特殊災害救助隊が中心となり、3署から多くの消防車両と消防職員が出動し活動されるという、大掛かりな活動でした。

軽度の人は自力でテントへ



煙の中を避難体験(黄色のテント)



参加賞のトイレットペーパー

防災訓練 5区6区 令和5年 11月24日

11月24日、みりじえの多目的ホールにおいて、野村町5・6区町内会(25名参加)の合同自主防災訓練が実施されました。

今回のテーマは、「あなたの愛する人のために、応急手当を覚えましょう」と題しまして、内容としては、心肺蘇生法とAED操作の講習でした。

最近よくテレビなどで、「救急車の出動回数が多い」「救急車が到着するまで時間がかかる」という様な報道がされており、北はりま消防管内においても救急件数が増加しています。令和4年においては、北はりま消防管内での件数が7,447件、前年と比較すると691件も増加しており、北はりま管内発足して以来、過去最多とのことでした。また、隊員の方が「北はりま消防管内では、119番通報してから到着まで平均9.7分」かかっており、(全国平均とほとんど変わらない)消防車が到着して救急隊員に引き継ぐまでの9.7分間、心肺蘇生法を続けなくてはいけないということになります。このことを頭に入れておいてください」と強く仰られていきました。

訓練では、ご家族やご夫婦で参加されている方々や、熱心に隊員の方に質問される方もいらっしゃいました。こういった雰囲気の訓練を体験すると、やはり必要不可欠だと感じました。

もし、未だ心肺蘇生法やAEDの操作方法が分からず、または以前に講習を受けたが忘れてしました・・・、という方は、積極的に講習を受けるようにしましょう。最後になりましたが、お忙しい中、ご協力いただきまして北はりま消防本部・西脇市役所防災安全課のみなさまにあらためて御礼を申し上げます。

野村町のAED設置場所西脇市のホームページAED設置場所を検索してね



縁の下の力持ちの皆さん、お世話をいただき、ありがとうございました。



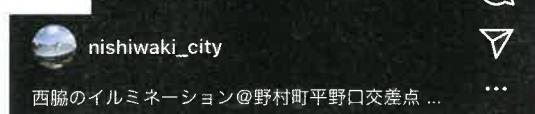
イルミネーション設置 令和5年12月2日



町づくり協議会の皆さん

夜点灯してから手直しされました。

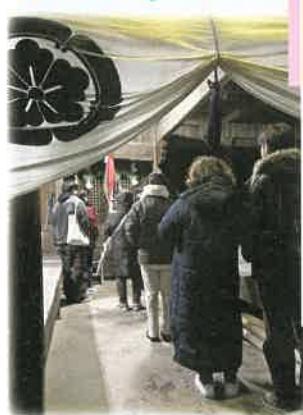
西脇市のインスタグラムに掲載



前日から準備

祇園祭 令和5年12月3日

祇園祭は八坂神社の祇園舎が由来。豊作を報告し、無病息災を祈願する神事だそうです。



夕方から準備。
菓子、お神酒、
カップ汁粉の
ふるまいがあ
りました。
小雨が降りま
したが、無事
12：30頃終了

年末年始祭灯 令和5年12月31日～ 令和6年1月1日



団子200本、菓子200個、飲料200本等
のふるまい



子供会の活動抜粋 (R. 5年度)

- 運動会子供会競技
- 各区旅行復活・1区六甲グリーニア
・2区BBQ・3区キッザニア
・4区京都水族館他・6、7区USJ
- とんど



とんど 令和6年1月7日

消防団もスタンバイOK。
年末12/28～30まで夜間パトロール
(野村町1周1回20分くらいを1日3回)
もされました。



互礼会 令和6年1月6日

互礼会は長年1月4日に開催されてきましたが、今年から仕事をされておられる方にも出席していただきたいという意向で、正月三が日を過ぎた最初の土曜日に開催されることになりました。

変更後初の開催となつた今年の互例会は、藤井衆議院議員、内藤県会議員、片山市長、浅田、坂部、村岡市会議員を来賓としてお迎えし、今年は感染予防のための人数制限をなくし、町民の皆様誰でも参加していただけるようにしたところ合計73人の方の参加となりました。

来賓の方から、「1月1日の能登地震に関して、西脇では地震発生後2時間後にはDMA-T派遣や募金箱準備ができていた。また珠洲市のふるさと納税能登地震募金の代行事務を西脇市が担当することになった。やはり地域の力が大切だということを再認識し、野村町には西脇市を支える中核としての活躍を期待している。」との挨拶をいただきました。その後○×クイズ、ビンゴゲームで盛り上がり閉会となりました。町民の相互の親睦が図れ良い時間になつたと思います。準備していただいた皆さまに感謝いたします。



○×クイズ (抜粋)

- ① 野村地区で最も人口が多いのは3区である
X 1位…4区1451人 2位…3区1324人
- ② 男性が女性の人口を上回っているのは1区だけである。
○ 男204人 女189人
- ③ 加古川流域辺りにあった野村城は美濃国の諏訪大社の分社で江戸時代宝永年間（1704～11年）庄屋の東田六郎兵衛光盛が建立した。
X 長井六兵衛光盛が建立
- ④ 令和2年3月に野村町は「新野村地区まちづくり計画2020」を策定しました。その1つに「地域コミュニティの再生」というのがあります。そのメッセージは「参加するのが楽しくなるまち野村」である。
○

- ⑤ その1つに「地域産業の振興」というのがあります。そのメッセージは「もうかりまっせ野村」である。
○
- ⑥ その1つに「地域マナーの向上と環境美化」というのがあります。そのメッセージは「地域をきれいに。心もきれいに野村」である。
X 「地域をピカピカ。心もピカピカ野村。」
- ⑦ 板波町と野村町の境界にかかる岩井橋の昔の名前は「宮渡り瀬橋」という。
○

○×クイズ
やってみてね





十日戎
令和6年
1月10日

狛犬も前掛けを新調



準備に前日も集まっておられました。吉兆100個。一番大きい吉兆は11000円で11個の予約。今年はせんざい200杯も用意されました。



例) あなたは神社の総代です。新しく入った世帯が神社割を納めないと申しきました。昔から自治役員=神社割の考えできました。あなたはどうしますか?
YES・・求める
NO・・求めない



グループの中で各人が「YES」「NO」カードを一斉に提示します。



□組織のリーダーは男性の方が向いている。
□親戚や地域の会合で食事の準備や配膳をするのは女性の役割だ。
他23の質問がチェックシートに書いているよ。みんなで男女共同参画について考えるきっかけになるといいね。

12月10日、役員、各区正副会長、各種団体委員長を対象に丹波篠山市で地域の応援隊としてご活躍の生涯学習応援隊SO-SO39代表のきたむら久美子さんをお迎えし、男女共同参画・女性活躍の推進講演会「男女共同参画の地域づくり~地域防災にエンダーの視点を~」というテーマで開催されました。まず、無意識の思い込み（アンコンシャスバイアス）してませんか?とのテーマで国の男女共同参画局が作成しているチェックシートを使用してのお話でした。次に地域で取り組める男女共同参画のヒント・防災活動の一つでクロスロードゲームを紹介してもらいました。毎日時間に追われて暮りしていますが、このような研修に参加すると、社会には色々考えないといけないことがたくさんあることに、改めて気づかされることがありますと思いました。



いきいきサロン6区



野村町まだまだ知らないことがありました

スポーツクラブ 重春・野村
グラウンドゴルフ



毎週月曜午前中に6区集会所で開催。5年前に始められたそうです。21人のメンバーで3種類の体操をしておられます。参加者の方は「1人暮らしをしていてこのサロンに誘ってもらった。皆さんとお話しできて元気がもらえる。感謝感謝です。」と言われていました。この日は歯科衛生士のお話もありました。茶話会もなごやかな雰囲気でした。

会員60人 9:30~
(火)休(日)西脇工業高校
(水)野村公園 (土)重春小学校
多くの人が参加されています。

コウノトリ飛来



大池にこうのとりが飛来していました。
1/8-9



しばざくら通り街灯

今まで消えていたしばざくら通りの街灯がLEDに新調され、明るく毎晩道を照らしています。

野村町の すごい人



内橋敏美さん（2区）

「こんなところに凄いおばあちゃんが・・・」

私の大好きな字に出会ったのは、コロナが流行る前の野村町の文化祭での事。

「千文字文」を書かれ出品されていて、達筆で一文字一文字が素晴らしい引き込まれてしまいました。是非、お会いしたいと・・・名前は分かつたけれど、お住まいも年令もどんな方かもわからぬまま年月が経過してしまいました。

ようやく分かつたら、何と野村町公民館の「毛筆サークル」で多くの方々に習字を教えておられました。早速お会いしてきました。

お名前は、内橋敏美さんで、2区にお住まいです。年令は、なんと84歳。笑顔が素敵でとても若く見えます。毛筆だけでなく、絵手紙も描かれており心が和む方です。

また、毎日早朝から、5000歩～7000歩をウォーキングし、毛筆の腕だけなく脚も鍛えておられます。

これからも今している事を続け、さらに次は消しゴム版画にも挑戦したいと。そして、回りの人に迷惑をかけず、趣味を楽しんで元気に生きていきたい・・・と笑顔でお話してくださいました。

毛筆サークルの生徒さんに内橋先生の事を聞きました。

「熱心な先生なので、とても心強いです。」「とても器用で、消しゴムで落款を皆の分作って頂きました。内橋さんの様に元気で素敵に年を重ねていきたいですね。」

（文 萬浪友子）

はらぺこあおむしの会

毎週金曜日

13:00～14:30



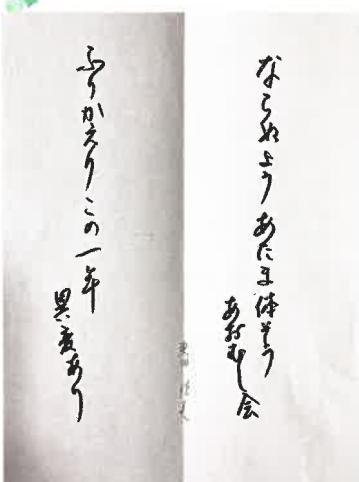
いつべん、来てみて！
はらぺこあおむしの会・・・
いろいろやっています！

毎週金曜日午後1：00～野村町公民館で、元気カフェ100円コーヒー（お菓子付）の喫茶をやっています。10月からスタートしました。毎回来て下さる方や町外遠くから来て下さる方、等わきあいあいで楽しくやっています。先ず、コーヒータイムをして、おりひめ体操・頭の体操・・・ぼけないようになります。この前は、俳句に挑戦したのです。殆どの方が初心者でしたが、上句と下句を合わせて楽しい俳句ができました。良かつたのかな？次のはらぺこあおむしの会に、俳句を作つて持つて来てくださいました。とても嬉しく思いましたのでご紹介します。

なまねようあたよ体ぞう
あおむしの会

やかまくこの一年
黒豆

東田 佳美さん 作



ありがとうございました。

この号を発行したり、私の広報委員長としての仕事もほぼ終わります。

委員長を引き受けた時は、野村町にはすばやく人材がたくさんおられるのになんで私どきが、この役をやるにとになったのかと愚痴る毎日でした。

今、2年の任期を振り返ると、野村町の町政を知ることができる、広報委員として免罪符で多くの人に色々な話を聞くことができ、知り合にも増え、良い経験になりました。また広報委員の皆さんは協力的で、良い方たちだったので、一緒にこの仕事ができてよかったです。

令和5年度 復活行事

令和5年5月8日新型コロナウイルス感染症の位置づけは新型インフルエンザ等感染症（2類相当）から5類感染症に移行しました。それに伴い多くの行事が復活し、令和5年度は「復活元年」になりました。

4月29日 総会 全代議員出席 各種団体の出席は見送り
(昨年は関係役員11名のみ出席)

5月21日 第37回野村町親善運動会（4年ぶりの開催）

7月22日 6区納涼祭

7月26日 しばざくら夏祭り夜も開催（去年は19時で終了）

7月15日 人権教育協議会市外研修（去年は市内研修）

9月17日 敬老会ロイヤルホテル（去年はお祝いの品を贈呈）

10月7~8日 野村町秋祭り（去年は神事のみ実施）

1月 6日 互礼会各種団体、町民全体に参加呼びかけ

多くの行事が復活しましたが、公民館でのマスク着用依頼はまだ継続中です。完全に元の状態にもどるにはもう少し時間がかかるようですね。

役員は確かに時間も手間も取られます。しかし役員の方が熱心に取り組まれておかれで、我々町民は安心安全な暮らししができ、行事、各種団体の活動、サークル活動が活発に行われ、町の活性化につながっていることがわかりました。

「やるやん野村町」と思っています。今後も多くの方に役員を経験していただき、野村町のことを考えていただける人がもっともっと増えていく、「もっともっとやれるで野村町」になっていくことを願っています。アポイントも取らずに取材に行っても、快く応対してくれる皆様に感謝します。2年間、我々広報委員が編集した広報を読んでいただきありがとうございました。

広報委員長 川崎 佳子

ほうちやんは令和5年6月号に公募で誕生しました。私を作画してくれてとても嬉しかったです。



こうちゃんは令和4年6月号に誕生しました。多くの皆さんに「広報のむら」を読んでもらおうと色々コメントをさせていただきましたが、今号でお別れとなりました。

短い間でしたが皆さんの記憶の片隅に残してもらえた嬉しいです。文化祭で顔出しの立体になれたのが一番の思い出です。

編集後記

みなさん、こんにちは。
広報「のむら」が年に4回発行されているのはみなさんが存じでしょうか？

恥ずかしながら、正直、町役員の広報委員になるまで知りませんでした。3の倍数月に発行されており、株を売っている方はよくご存じだと思います。

今年度が始まって5月に、新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に位置付けされたことにより、コロナ患者や濃厚接触者の外出自粛制限がなくなりました。それに合わせて経済活動が再開され全国各地で行事が開催されたりと、やつと行動範囲が広がりました。もちろん、町内行事の秋祭りや運動会が100%ではありませんが、コロナ前にほぼ戻るような感じになり、特に、秋祭りは久しぶりに太鼓や子供みこしが見られたりと、世の荒波をぐり抜けた・・・様な気もしました。

また、子供会主催のbingo大会における、「bingoでワッショイ！」は数日間頭から離れない程、衝撃があったのを覚えています。

来年度からは、色々な行事がもっと拡大され賑やかになると思います。野村町の発展のため、私自身出来る限り尽力させていただきたいと考えます。